

来週の「売り物」記事はこれ



2016年8月26日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

「玉三郎」のふるさと 最後の山谷労働者逝く

28日(日)



よっ、玉ちゃん——。7月、東京都荒川区の斎場で威勢のよい掛け声が響き、120人を超す仲間から拍手が湧き起こりました。茶毘に付されたのは通称・山谷玉三郎さん。享年66。日雇い労働者が集まり、「寄せ場」と称された山谷のドヤで40年近く暮らしてきた玉ちゃんは、活気のあった往時を知る「最後の山谷労働者」と呼ばれました。故郷に帰りたくても帰れない労働者のため、年に1回開かれる夏祭り得意の踊りを披露し、拍手喝采を浴びた人気者でもあります。50歳を過ぎて病魔に苦しみ、「好きでここにいるわけじゃない」と言いつつ、「他へ行ったら孤独に耐えられないんだよ」と漏らした玉ちゃん。彼はなぜ山谷を「ふるさと」と呼んだのか。その訳を知りたくて、玉ちゃんと親交のあった記者が旧知の人々を訪ねました。



日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待下さい。

「芥川賞」でもアルバイト暮らし?

純文学作家たちのフトコロ事情

夕刊特集ワイド 29日(月)



「小説家」といえば憧れの職業の一つ。さらに芥川賞をとれば、一躍「流行作家」の仲間入り——と思われがちです。でも、実際はどうでしょう。出版不況もあり、初版はせいぜい数千部。ストーリーが浮かばず、書けないことだって……。『筆一本』で食べていくのは容易なことではないようです。芥川賞作家の村田沙耶香さん、吉村萬壺さんらの体験談を交えて、純文学作家たちのフトコロ事情取材しました。

学童保育は今

くらしナビA面 31日(水)から

保護者のいない児童が放課後を過ごす学童保育。共働き家庭が増え、対象年齢の引き上げもあって入所者が激増し、児童クラブがすし詰めになる事態も起きています。現場の指導員はどんな苦勞を強いられ、整備を進める自治体はどんな工夫をしているのか……。習い事や送迎のオプションまである、都会の民間児童クラブの動向も合わせ、探りました。



男性の和ファッション

くらしナビA面 30日(火)



メンズファッションの世界で最近、「和」を感じさせるデザインや素材の服が多く発表され、国内外で注目されています。現代的な洋服に取り入れる新鮮味や、伝統に根付いた機能性が評価されているようです。はかま風のワイドパンツを今年の秋冬物から販売する三宅一生さん(78)のメンズブランド「オム・プリッセ・イッセイミヤケ」などの動きを紹介します。

女の気持ちをたずねて



おんなのしんぶん 29日(月)

読者投稿欄「女の気持ち」に掲載された投稿者を記者が訪ねる人気コーナー。今回は、東京都北区の鎮目敬子さん(63)宅を訪問します。1年前に89歳で亡くなった母は針仕事が得意で、子供たちの衣類や座椅子のカバーを縫った「作品」が身の回りにあったそうです。敬子さんは、かつて実家に帰省した際に母が渡してくれた旧1000円札を手に、思い出を語ります。



確定拠出年金の対象拡大

医療・福祉面 31日(水)



来年1月から私的年金の一つ「確定拠出年金制度」の対象が拡大され、専業主婦や公務員も加入できるようになります。国民年金や厚生年金といった公的年金に上乗せして老後資金を増やすことができます。掛け金が所得控除され、税金が安くなるメリットがありますが、受け取る金額は運用次第で、選ぶ商品によってリスクを抱えることもあります。国が制度を拡充する背景には、少子高齢化によって公的年金の給付水準が低くなっていく事情があります。制度の仕組みや、対象拡大の背景などを詳しく解説します。

2018年ワールドカップ ロシア大会アジア最終予選

村井満・Jリーグチェアマンに聞く <日本サッカー界の課題>

オピニオン面 [そこが聞きたい] 9月1日(木)

いよいよ2018年ワールドカップロシア大会アジア最終予選が始まります。初戦は9月1日、アラブ首長国連邦戦です。日本が史上最多41個のメダルを獲得したりオデジャネイロ五輪ですが、前回ロンドン大会4位のサッカー男子は1次リーグで敗退しました。五輪代表の主力を担った選手がプレーするJリーグの村井満チェアマンに日本サッカーの課題を聞きました。



時代が見える——。オピニオン面にご期待ください。